2024年3月24日・阪神　初勝利のウイナーズサークル

小島友実の

あの馬のSTORY

ベンダバール

グリーンファームにはお馴染みの血統がいくつか存在しますよね。母ラヴァズギフトもそう。牧浦充徳調教師はこの母の産駒をこれまで、ジャストザマリン（馬主はジャスト・タイムクラブ様）、ファストアズエバー、グランマリアージュ、ジュエルアズギフト、そして今回の主役ベンダバール、計5頭を管理してきました。ベンダバールが1歳募集される時のインタビューでも、「これまで、この血統で経験してきた強みを活かしたいですね」と話していたのを覚えています。

ベンダバールは1月28日の小倉芝1200メートル戦でデビューしました。

「お姉ちゃん達は仕上がりが比較的早いタイプでしたが、この馬は幼い面などがあって成長を待った事もあり、この時期のデビューになりました。ただ、入厩してから調教で動いていたから、期待していたんです。結果は8着。レース中に落鉄していましたからね。経験を積めば変わり身を見せてくれるのではと感じさせる内容でした」

2戦目となった3月2日の小倉芝1200メートル戦では7着でした。

「スタートではゲートで暴れた他馬を気にして立ち遅れてしまいました。1回使って、状態は少し良くなっていたものの、既走馬相手になった事もあり、対応できませんでした。それでも上がり3ハロンタイムでは最速の脚を使っていましたし、調教の動きから条件がかみ合えば、勝ち上がれるだろうと感じていました」

3月24日の3戦目では、初めてダート戦（阪神1400メートル）に出走しました。

「ドレフォン産駒はダートで結果を出す馬が多いですからね。調教で動くわりには芝で力を発揮できない状況だったので、条件を変えてみました。川須栄彦騎手にはレース前、『前走で立ち遅れているので、ダートで砂をかぶると不安要素がある。だから、スタートしてしっかりポジションを取りつつ、道中は流れに乗せてレースをしてほしい』と伝えました」

そして牧浦師がお話する通り、条件が合ったこの3戦目で嬉しい初勝利を手にしました。

「川須騎手がこちらの指示通りに乗ってくれたので、すべてが良い方向に向かいました。最後に良い脚を使ったし、3戦目で勝ってくれてホッとしました」

昇級初戦となった4戦目は6月8日の京都ダート1400メートル戦に出走しました。

「1勝クラスになって、幼い面が影響してしまいましたね。パドックではそんな事はないのですが、騎手が跨るとチャカチャカする感じを見せていました。お姉ちゃん達もそういう面があったのですが、ファストアズエバーやグランマリアージュは気合い乗りが良い意味で走る方に向かっていました。一方、ベンダバールは気持ちの高ぶりが走る方に向かっていない感じ。まだ体力的にしんどいから、こういう面を見せたのだと思います。ですから今後、馬格に対してもっと幅が出て、体力がついてくれば解消していく部分があると思っています。飼葉は食べているので、実になってほしい。成長の余地があると思います。今後の成長と変わり身に期待したいですね」

現状、牧浦調教師はベンダバールの長所をどう評価しているのでしょうか。

「姉達同様、スピードは良いものを持っていると思います。レースではまだそのスピードを発揮していませんが、調教では前向きさやスピードを見せていますからね。だから調教で動けるんです。繰り返しになりますが、体質がもっとしっかりすればレースに行ってこの馬の良さが出てくるのではと期待しています」

ちなみに、「顔も体もお姉ちゃん達とは似ていません。お姉ちゃん達は調教でも気をつけないといけない感じでしたが、ベンダバールは調教で指示を聞いて走ってくれています。馬房も含めて手がかからない馬ですよ」と教えてくれました。

ベンダバールは8月27日に放牧先から帰厩。9月22日（日）中京・ダ1400メートルの復帰戦を目指し、調整が続いています。今後の展望を伺いました。

「体力がついて、レース経験を積んでいけばお姉ちゃん達同様に2勝クラスや3勝クラスに上がっていけると思っています。しっかり鍛えて、会員の皆様に楽しんで頂けるよう頑張っていきます。この血統にはずっと携わっているので、癖や傾向は把握しています。これまでの経験を活かしたいですね」

ベンダバールはジャストザマリンとグランマリアージュを担当していた田所宏晃持ち乗り調教助手（父は田所清広元調教師）が担当しているそうです。この血統を十分に熟知している皆さんのバックアップを受けて、ベンダバールがどう成長していくのか。今後に注目したいです。

（電話取材：8月29日）

profile
競馬キャスター&ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマホアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（主婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。